



かくきようしつ かしつき せっち
各教室に、加湿器を設置しました！

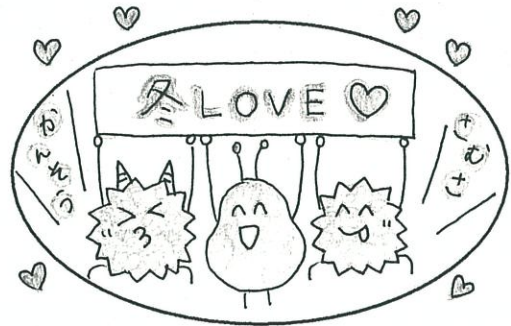
いよいよ冬本番を迎えます。半袖短パンで元気に遊んでいる人もいて、元気だなーと思いつつ風邪をひかないかと心配です。気温にあわせて適切な服装選びを！

さて！11月から各クラスに加湿器を1台置いてあります。加湿器の効果と、適切な使用方法を知り、各クラスで大切に扱ってください。

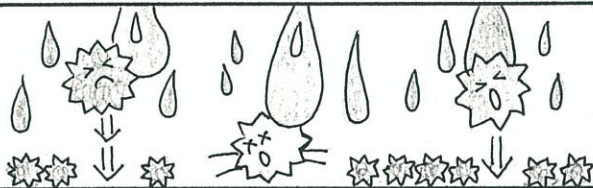
冬＝ウイルスが活動しやすい時期

冬は気温が低く、湿度も低いため、インフルエンザ等、様々なウイルスにとって都合の良い環境です。

また、冬は冷たい空気や乾燥によって、鼻や気道のウイルスバリア機能が弱まるため、ウイルスたちはさらに活動がしやすくなります。



湿度が高い時（夏に多い）



ウイルスは空気中の水分を含んで重くなり、地面に落ちるため、生存しにくい。

湿度が低い時（冬に多い）



空気中の水分量が少いため、ウイルスが生存しやすい。

➡ 加湿器の使用によって湿度を上げることは、風邪・ウイルス対策のポイントの1つです！

★湿度40～60%をキープできるようにしよう！

快適な湿度の目安は40～60%といわれています。湿度40%以下の低湿度ではウイルスが活動しやすくなってしまうですが、一方で湿度が60%以上の高湿度では、ダニやカビが繁殖しやすいため、健康被害につながります。

加湿器の扱い方に注意！

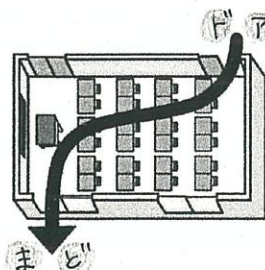
加湿器の操作はクラスの環境係がおこなう！

みず
水がなくなっている！
放課後スイッチがつけっぱなし！という時は
環境係へ報告！

かんきようがかりいがい
環境係以外の生徒は
触らない！見守るのみ！近くで騒ぐ、
暴れるも禁止！

加湿器とあわせて大切なことは、「換気！」

「寒くて換気したくないー」という気持ちはすごく分かりますが、最低限、授業と授業の間の10分間は教室の窓とドアを開けて換気をしましょう！



へや たいかくせんじよう
部屋の対角線上にある窓やドアをあけて、空気の通り道をつくるのがポイント！